



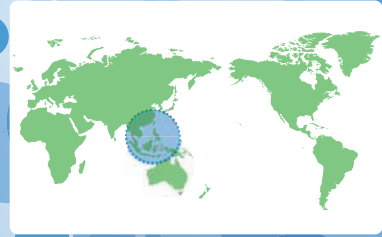
2016年度

事業報告

地域別事業報告
テーマ別事業報告



1 アセアン地域



ASEAN region



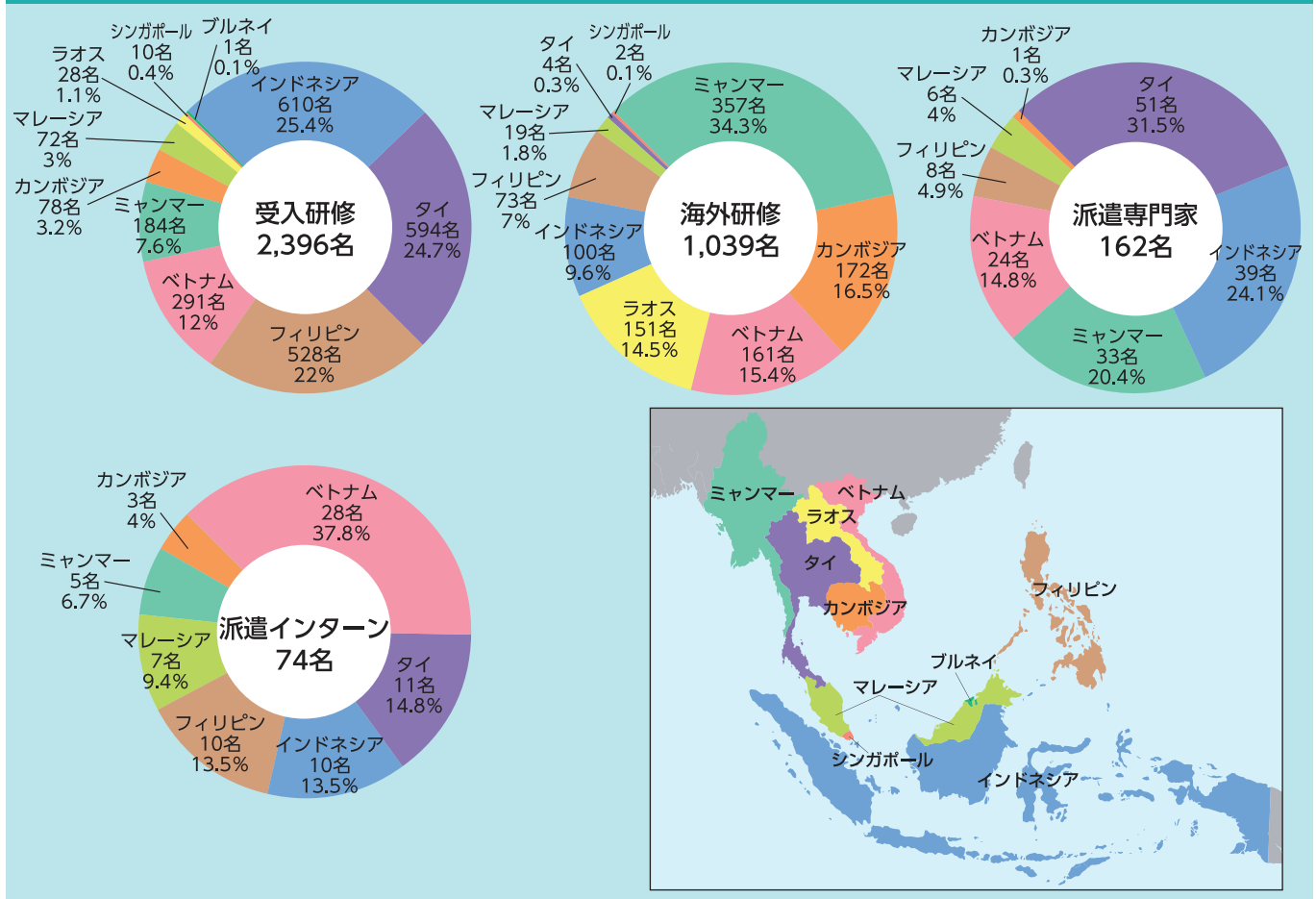
東南アジア10カ国(ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム)からなる地域協力機構アセアンの域内人口は6億2000万人超、域内総生産は2兆5000億ドル超の巨大経済圏であり、日本の直接投資はアセアン地域がアジアにおいて最大の投資先となっています。2015年末に「アセアン経済共同体」が設立され、域内貿易の増加および域内のインフラ整備が更に進むと見込まれています。共同体設立に合わせ、日本政府もアセアン地域の更なる統合と持続的な成長を後押しするため、インフラ整備とともに各国の産業を担う人材育成を支援することを表明しています。日本企業においては、アセアン地域での製造拠点を、域内製造業の中心となっているタイから、「タイ・プラス・ワン」として周辺国へ分業を進めていく動きもみられ、それにとともに人材育成のニーズも多様化してきています。域内の各国と日本の経済関係は今まで以上に緊密かつ重要なものになっています。

AOTSでは、近年の日本企業の海外展開に沿う形で、アセアン地域に対して最も多くの事業を行っています。

2016年度は自動車および同部品、電子部品、IT、建設、サービス分野等を中心に、幅広い分野の技術移転を図り、現地の日系企業はもとより取引先である地元企業を含めた地場産業全体の生産性や技術力の向上に貢献しています。

また、同地域の産業基盤や社会基盤のインフラ整備需要が大きくなっていることを踏まえ、アセアン諸国における質の高いインフラ整備を人材育成の観点から支援するとともに、現地の貿易投資環境を整備し、円滑な貿易投資を推進するための技術協力事業を展開しました。

アセアン地域における国別実績(2016年度)



FOCUS インドネシア *Indonesia*

2016年度にインドネシアから受入れた研修生および看護師候補者・介護福祉士候補者は610名とこれまでトップであったタイを抜き最多となりました。

日本とインドネシアとの二国間経済連携協定に基づき、日本の国家資格を取得し、看護師・介護福祉士として就労するために来日した看護師候補者・介護福祉士候補者に対する6カ月間の受入研修では、総勢278名の看護師・介護福祉士候補者に対し、病院、介護施設での就労に入る前の導入研修として日本語や日本の社会・文化に関する研修を実施し、候補者の円滑な就労に向けた支援を引き続き行いました。

また、現地日系企業に勤務する産業技術者や現地企業の管理者164名が専門分野の固有技術、低炭素化技術を習得する技術研修や管理研修に参加しました。同国で成長している自動車・二輪産業における生産性の向上等を目的とした技術研修や、企業経営等の管理者向けの研修等を実施しました。

専門家派遣でも、補助事業における自動車産業の生産プロセスの省エネ化に関する技術指導や、経済産業省の委託事業として実施した若手デザイナーの活動支援や紙リサイクルシステムの構築支援を目的とした指導をはじめとして、全事業合計で39名の専門家を派遣しました。

FOCUS タイ *Thailand*

2016年度AOTSでは、さまざまな事業を通じてタイの人材育成を支援しました。当年度に日本に受入れた研修生等は594名、現地に派遣した専門家は51名にのぼり、多くの実績をあげました。

受入研修のうち327名は、現地日系企業等より派遣された産業技術者および現地ローカル企業等の管理者で、AOTSの研修を通じ、技術者については自動車、IT等の専門分野における固有技術の習得を目的とした研修や低炭素化技術の移転を目的とする研修、管理者についてはリーダーシップや生産管理等管理者としての研修を受けました。

また、経済産業省の委託事業では、安全管理資格制度構築、高速テストコース運営手法、日本式血液浄化療法の普及等をテーマとした専門家派遣を実施し、24名の日本人専門家をタイに派遣する等、同国の持続的発展に貢献するとともに、日本企業の進出をさらに加速するための産業インフラ・基盤整備に対する支援を行いました。その他、タイの鉄鋼業界に従事する若手技術者を対象に、製鉄技術・自動車関連用途・機械関連用途への加工技術、品質保証を学ぶ研修コースを実施し、62名が参加しました。

また、日本人インターンをタイの現地企業等に11名派遣し、日本人のグローバル人材の育成を行いました。

FOCUS フィリピン *Philippines*

インドネシア、タイに次ぐ528名を日本に受入れ、専門家派遣では8名の派遣実績をあげました。

日本とフィリピンとの二国間経済連携協定に基づき来日した看護師候補者・介護福祉士候補者に対する6カ月間の受入研修を2009年度以降実施しており、2016年度についても60名の看護師候補者、274名の介護福祉士候補者に対し、就労に

入る前の導入研修として、日本語や日本の社会・文化に関する研修を実施し、候補者の円滑な就労に向けた支援を行いました。

その他、96名が現地日系企業等より派遣された産業技術者および現地ローカル企業等の管理者で、IT、産業機械等の専門分野における固有技術、低炭素化技術の習得のための研修やプロジェクトマネジメント等の管理研修に参加しました。

FOCUS ベトナム *Vietnam*

2016年度は受入研修実績のうち、160名が現地日系企業等より派遣された産業技術者および現地ローカル企業等の管理者で、建設、IT等の専門分野における固有技術の習得のための研修や企業競争力強化等の管理研修に参加しました。

その他、経済産業省の委託事業として、流通・外食事業者のためのマネジメント支援、現地での物流資格認定講座構築のための支援を目的とした受入研修・専門家派遣事業を実施した他、情報セキュリティ強化をテーマとした海外研修を実施しました。

また、日本人の海外インターンシップ派遣事業では、派遣先国として最多の28名の若手社会人・学生を派遣し、インターンシップを通じた現地における人脈の構築とグローバルに活躍できる若手人材の育成に貢献しました。

FOCUS ミャンマー *Myanmar*

日本とミャンマーの経済関係はここ数年、特に緊密になっており、ヤンゴン日本人商工会議所の登録企業数は300社を超えました。急激に高まったミャンマーでの産業人材育成のニーズに応えるためAOTSは2015年9月にヤンゴン事務所を開設し、様々な事業において支援を行っています。近年では情報サービス関係の企業の進出が進んでおり、それに対応した事業実績が増えています。

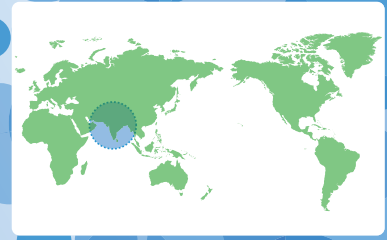
2016年度は、受入研修には184名、海外研修には357名が参加し、33名の専門家を派遣しました。現地日系企業等のIT関連分野における固有技術の習得のための研修や、経済産業省の委託事業で実施したサービス産業向けのマネジメント・接客技術、天然ゴムの品質および生産性向上等の研修の他、アセアン諸国における質の高いインフラ整備の推進を目的として、電力、送配電施設の視察、鉄道事業の経営、エネルギー政策支援等をテーマとした人材育成を実施しました。

FOCUS カンボジア *Cambodia*

受入研修には78名が参加し、海外研修には172名が参加しました。経済産業省の委託事業で実施した経営管理研修、品質生産性改善研修の他、職場環境改善等の現地セミナーを実施しました。

FOCUS ラオス *Laos*

受入研修には28名が参加し、海外研修には151名が参加しました。アセアン進出日系企業を通じた、アセアン域内のサプライヤー向けの人材育成においては、5Sや生産性向上、物流分野等の海外研修を実施しました。



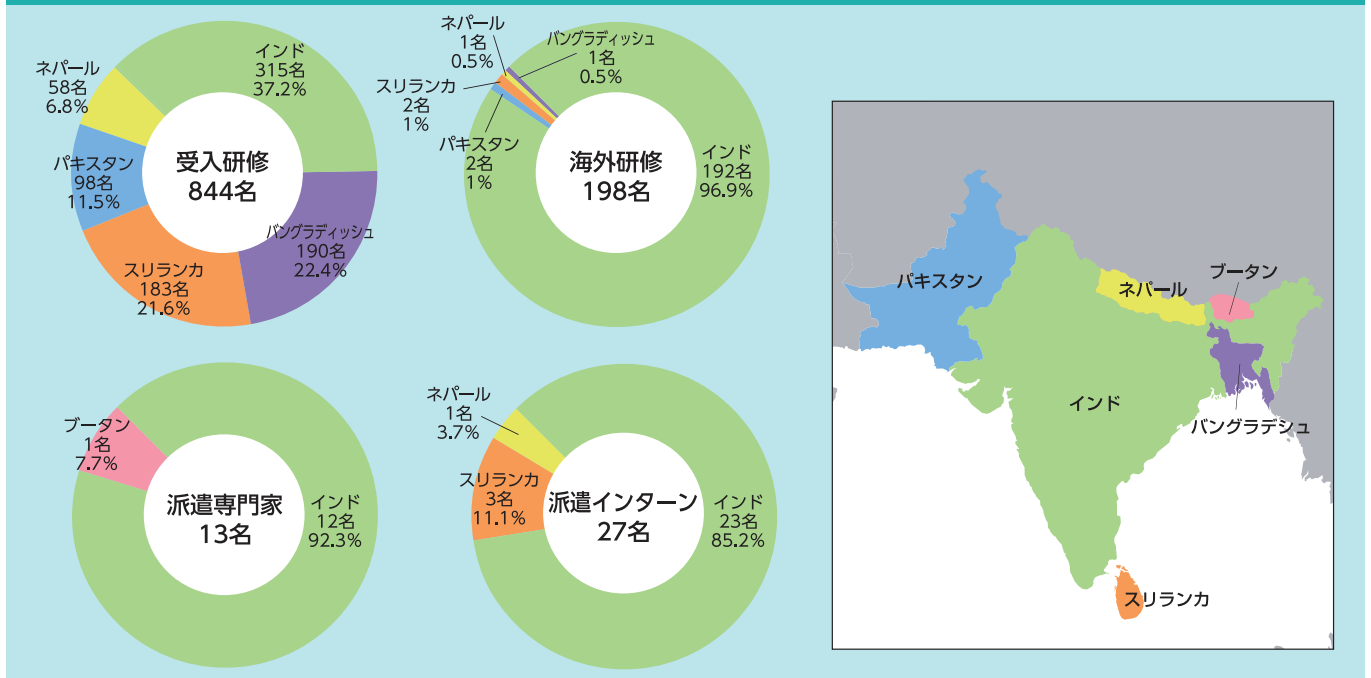
South Asia region



インドを中心とする南アジア地域は引き続き大きな経済的潜在力を有しており、中間層・富裕層の拡大による都市化、消費の拡大、豊富な人的資源に世界が注目しています。

日系企業のインドへの進出も年々増加しており、今後も日本からの投資や貿易の拡大が期待される中、現地の人材育成ニーズはますます高まることが予想されます。

南アジア地域における国別実績(2016年度)



Focus インド *India*

現地日系企業等より派遣された産業技術者および現地ローカル企業等の管理者の人材育成をはじめ積極的な支援を行っており、自動車等の専門分野における低炭素化技術の移転を目的とする研修や、ものづくりの管理手法を学ぶ研修等を実施しました。

海外研修においては、IT技術を活用した医療品在庫管理、生産管理、現場管理等をテーマとしたコースを実施しました。

また、モディ首相の提唱する”Make in India”、”Skill India”に貢献すべく、経済産業省の委託事業で日本式のものづくり学校(Japanese Institute for Manufacturing :JIM)に関する調査事業や日系企業で就労するために必要となる基礎知識のための教材作成を行いました。

インド各地のAOTS同窓会も活発に活動を行い、電力産業向けの企業経営、生産管理の実践的手法をテーマとした公的資金によらない研修をAOTSとともに企画し、105名が参加しました。その他インターンの受入機関開拓にも積

極的で23名のインターンがインドに派遣されました。

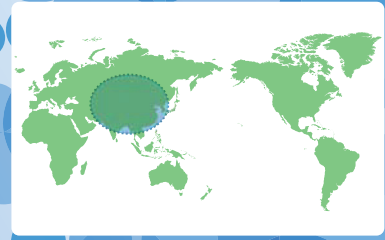
Focus スリランカ *Sri Lanka*

スリランカは毎年、現地ニーズに基づきAOTS同窓会とともにAOTSが企画した公的資金によらない研修への参加者が多いのが特徴で、受入研修に参加した183名のうち107名は当研修事業への参加者でした。2016年度は銀行業界におけるマーケティング/マネジement、製造業向けのカイゼンや生産管理、企業経営の研修コース等を実施しました。

Focus バングラディッシュ *Bangladesh*

AOTS同窓会の活動は引き続き活発であり、2016年度も同窓会との連携を図りつつ、190名の産業人材等を日本に受入れ、主に企業経営や生産管理をテーマとした管理者向けの研修を実施しました。

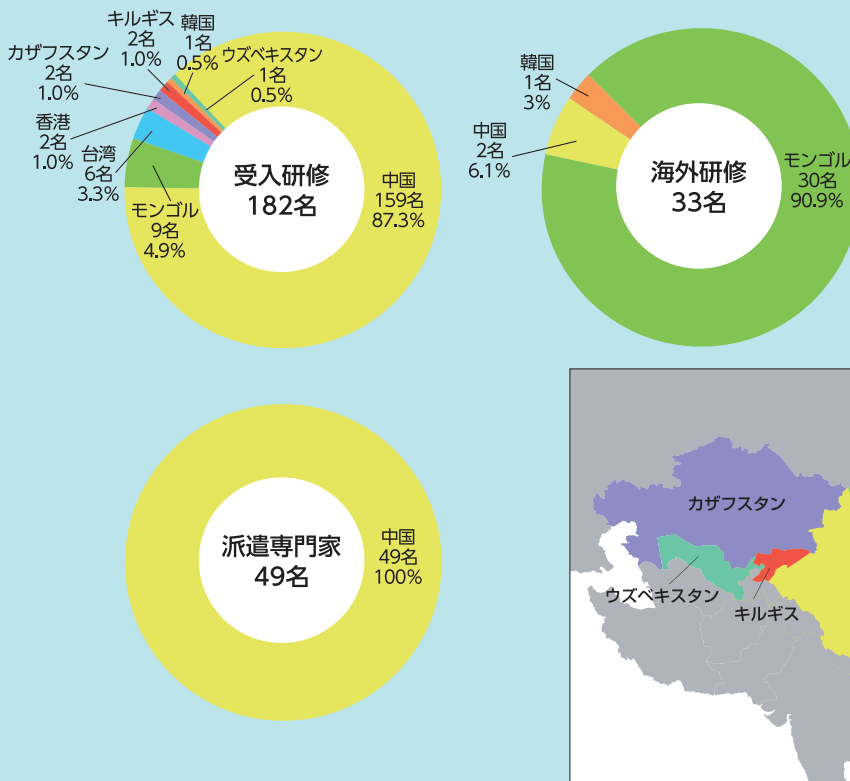
3 東・中央アジア 地域



East and Central Asia region

日本と地理的に近く、経済的に密接な関係にある東アジア地域の持続的な発展は、日本経済の成長にとって必要不可欠です。特に、中国と日本との経済関係は緊密かつ強い相互依存にあり、両国の良好な経済関係を維持することは重要な課題となっています。

東・中央アジア地域における国別実績(2016年度)



FOCUS 中国 *China*

中国では大幅なエネルギー需要の伸びをとまなう経済発展のなか、CO2削減及び省エネルギー対策を促進することが課題となっており、2016年度は2015年度に引き続き、低炭素化技術移転を目的とした事業を行い、消費電力を削減する製品/インフラ開発、製造工程における省エネ化技術等の研修に61名が参加しました。経済産業省から受託した技術協力活用型・新興市場開拓事業(制度・事業環境整備)においても、10名の研修生を受入れ、44名の専門家を派遣し、防災鉄鋼技術普及展開、電気自動車充電関連制度構築、土壌修復技術や排ガス測定処理技術等、環境関連の技術や制度普及のための支援を行いました。

また、AOTS総合研究の事業では、物流、アニメをテーマとするプログラムに中国から参加者を招聘、新国際協力事業においては、トヨタ生産方式、リーン生産方式をテーマとする研修を実施しました。



地域別
事業報告

4 中東・アフリカ
地域

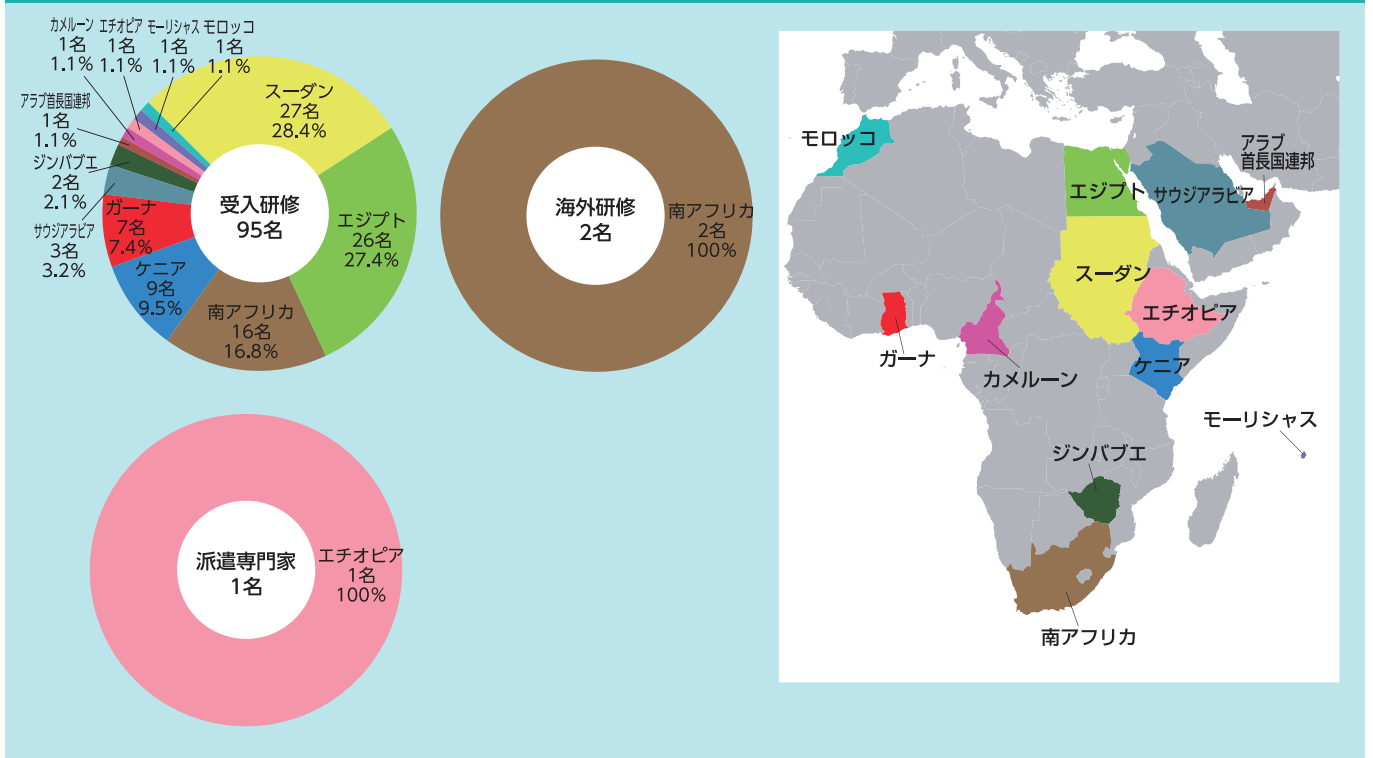


Middle East and African region

中東・アフリカ地域は、豊富な天然資源を有し、特にアフリカ地域については、着実な人口増加により、今後、巨大な経済圏の形成が期待できます。

中東・アフリカ地域と人的交流を進めエネルギー関係の強化を進め良好な経済関係を維持していくことは日本経済にとって必要不可欠です。また、日本企業のビジネス拡大には、引き続き、投資環境の改善やインフラの整備が重要な課題となっています。

中東・アフリカ地域における国別実績（2016年度）



2016年に行われたTICAD VIのサイドイベントとして、UNIDO東京事務所、経済産業省、日本生産性本部（JPC）との共催で『アフリカの技術革新・産業化に向けて』と題したセミナーを8月27日に開催しました。当協会からは金子顧問（当時）が参加しただけでなく、ケニア同窓会長を始めとする元研修生がスピーカーとして参加し、イベントに協力しました。また、これに呼応する形で、例年実施しているアフリカ現地企業向けの企業経営の管理研修の他、製造業向けの管理研修の増設を行う等、2016年度の管理研修コース全体ではスーダン、エジプト、ケニア等6カ国63名が参加しました。

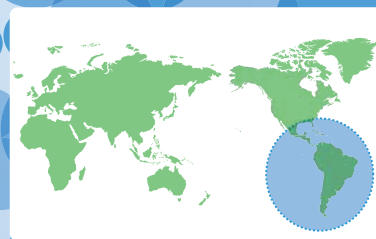
行政官を対象とした特許審査の基礎、実務を学ぶ研修コースには、南アフリカを始めとして、ジンバブエ、カメ

ルーン等6カ国16名が参加するなど、2016年度アフリカ地域では全体では受入研修に91名、海外研修に2名が参加し、1名の専門家を派遣しました。



地域別
事業報告

5 中南米地域

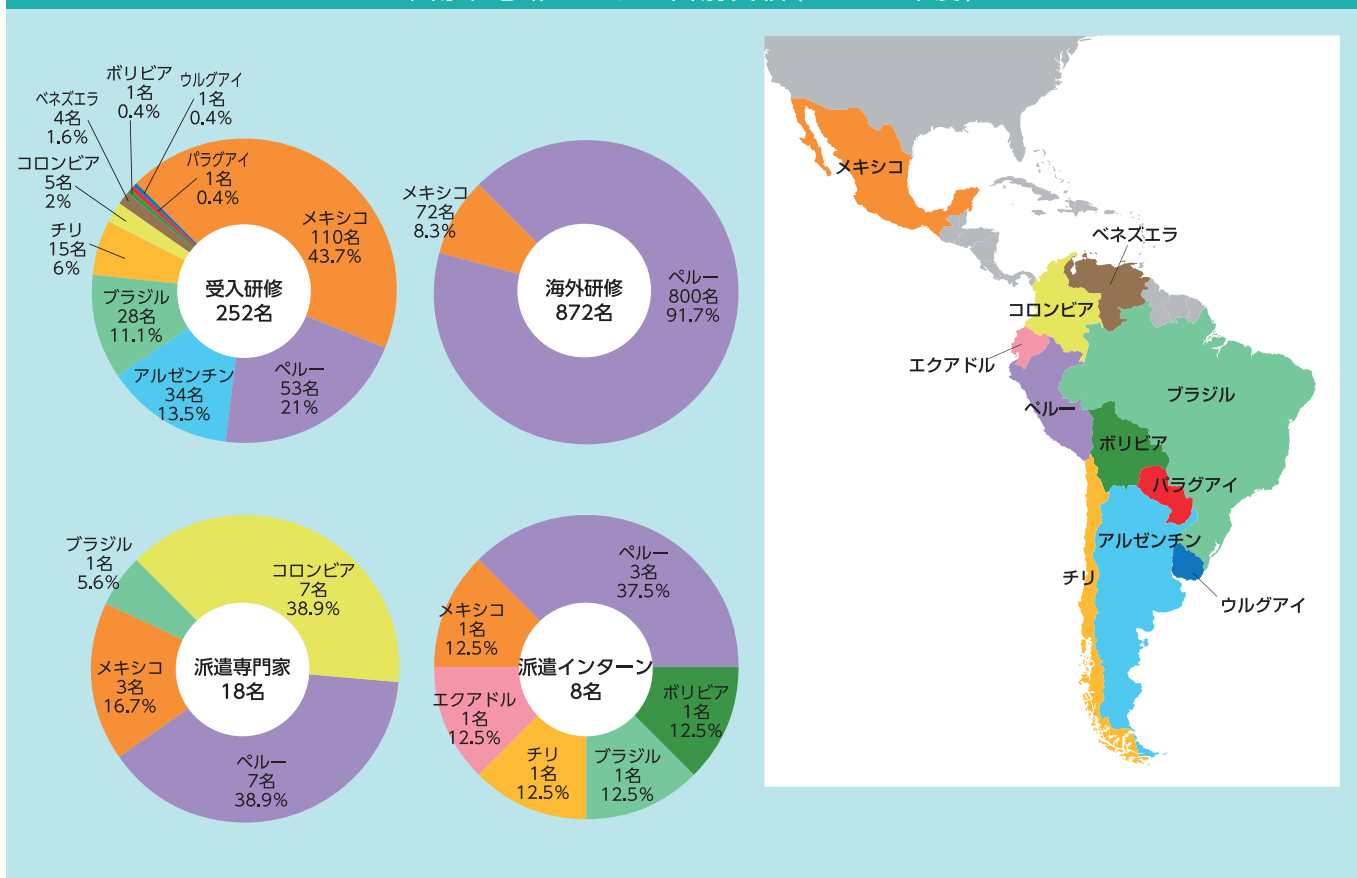


Latin America region

中南米地域は、資源需要の低迷等による景気低迷が継続しているものの、豊富なエネルギー・鉱物資源、高い食糧生産力を持つ他、5億6千万人の巨大な市場を有しています。

また、地域統合、自由貿易協定の締結が進展し、経済の更なる発展も期待され、日本と中南米諸国は今後更に重要な貿易・投資のパートナーとなる可能性を十分有しています。そのため、経済基盤の整備のためにも現地の人材育成がますます求められます。

中南米地域における国別実績（2016年度）



ブラジルでは、現地日系企業に勤務する産業技術者や現地企業の管理者8名が専門分野の固有技術を習得する技術研修や管理研修に参加しました。また、専門家派遣では、低炭素化の技術指導を目的とした専門家を1名派遣しました。

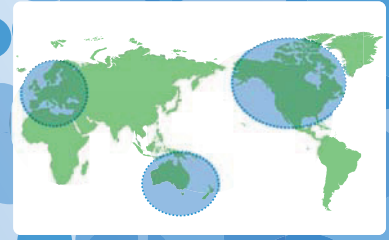
自動車製造業の進出が著しいメキシコからは、低炭素化技術の移転を目的とした研修に自動車分野を中心に30名の技術者が来日し研修を受けた他、生産管理や品質経営をテーマとした企業経営者、管理者向けの研修コースには43名が参加しました。また、産業財産権制度の普及に関わる研修には12名が参加する等、メキシコ全体では中南米で最多

となる110名の研修生を受入れました。その他、日本式都市鉄道システムの導入にかかる専門家派遣事業を実施し、コロンビアに延べ6名、ペルーに延べ7名の専門家を派遣しました。

また、AOTSの自主事業として、アルゼンチンの企業経営者を対象とした企業経営に関する訪日セミナー、中南米地域を対象とした5Sにおける経営革新のセミナーを実施しました。その他、5Sを通じた日本型実践経営をテーマに現地セミナーを計4講座実施し、メキシコで70名、ペルーで800名が参加しました。

地域別
事業報告

6 その他
(欧州・大洋州・北米地域)



Other regions



これら地域からの研修への参加、専門家の派遣は僅かなものの、2016年度は、現地日系企業等より派遣された産業技術者への固有技術の習得のための研修および現地企業の管理者向け研修コースにハンガリー、マケドニア等5カ国より23名が参加した他、厚生労働省の委託事業として実施した労使関係、人事労務をテーマとした研修にトルコ、フィジー等5カ国から14名が参加しました。

欧州・大洋州・北米地域における国別実績(2016年度)

